



平成26年9月26日から10月24日まで約1ヵ月間に渡り、9月定例会が開催されました。

平成25年度一般会計歳入歳出決算（歳入1兆1,580億2,386万円 歳出1兆584億1,382万円）は、国の緊急雇用創出事業を活用して県内7カ所でコールセンター事業を展開し、8月に業務停止した株式会社DIOジャパンの県内進出に係る経緯等について更に慎重な審査が必要として継続審査となりました。10月6日には4度目の一般質問に登壇し、広範にわたり県政を質しました。その内容の一部をご報告いたします。なお、11月27日から12月10日まで開催された12月定例会において、平成25年度一般会計決算は不認定となりました。

### 火山災害への対応について

**Q** 御嶽山噴火による大災害を教訓として、県域防災計画における火山災害対策の見直しが求められるが、どう取り組みむか。また登山者への対応も検討すべきではないか。

【総務部長答弁】

**A** 有識者で構成する「岩手山の火山活動に関する検討会」を早期に開催し、御嶽山の事例を踏まえた火山防災対策のあり方について議論をいただき、今後の取り組みについて整理していきたい。国において検討される新たな火山防災対策の内容も踏まえ、地域防災計画の見直しを行い、火山災害に的確に対応できる体制整備を図る。また、関係市町と連携し、登山者に対する火山活動の状況や噴火に遭遇した場合の対応に関する情報提供の充実に取り組むとともに、メール等を活用した緊急時の情報伝達の仕組みづくりの検討を行うなど、今回の事態で明らかになった課題に対応した防災対策の推進に努める。

### スポーツ振興について

**Q** スポーツ行政の一元化が必要である。教育委員会所管ではなく、スポーツをする目的の多様性に配慮した専門の部局を県の組織として設置するべきである。国のスポーツ庁創設の動向を背景に、県は組織改編についてどのように考えるか。

【知事答弁】

**A** スポーツに関する学校体育以外の所管については、障がい者スポーツなどを保健福祉部、それ以外を教育委員会の所管とし、それぞれの部局の連携の下に本県スポーツの振興を推進している。文部科学省においては、東京オリンピック・パラリンピック開催の決定を機に、平成27年度の政府予算概算要求において、スポーツ庁の設置に向けた関係予算を盛り込み、国民のスポーツ振興とスポーツを通じた健康づくりを一体的に推進しようとしている。本県においては現在、希望郷いわて国体・いわて大会を2年後に控え、

現在の組織体制の下で各部署が連携を図りながら、その成功に向けて全力を傾注しているところであり、将来的なあり方については全国的な動向も踏まえて検討していく。

### 障がい者スポーツの祭典である希望郷いわて大会に向けた選手強化及び障がい者スポーツの振興について、人員増等一層の体制強化が必要と考えるが、今後の計画を伺う。

【保健福祉部長答弁】

**A** 「希望郷いわて大会選手育成強化推進委員会」の中に、選手の確保や育成・強化を担当する「選手育成強化専門委員会」と、選手の練習への参加支援等を行う「サポート専門委員会」を設置しており、関係機関・団体との連携を図りながら、育成・強化に努めている。さらに、障がい者スポーツの振興の中心的な役割を担っている岩手県障がい者社会参加推進センターに、本年度、選手強化を担当する職員1名を専任としたところである。障がい者スポーツの振興については、希望郷いわて大会を契機とした、障がい者スポーツ協会等の設立を望む意見があることから、推進委員会において大会後の組織体制のあり方についても検討を行うこととしている。

### 農業問題について

**Q** 2014年産米価格が大幅に下落した。来年の作付けに向けて県は農業者、農業団体と三位一体となった取り組みを示せ。

【農林水産部長答弁】

**A** 稲作経営の安定を図るため、米・畑作物の収入減少影響緩和対策、いわゆるナラシ対策への加入を促進するとともに、農業団体等と連携して、年度内に新たな「いわて純情米生産・販売戦略」を策定し、この戦略に基づき、生産・販売の両面から取り組んでいく。具体的には、消費者や実需者に支持される米づくりを目指して、経営規模の拡大や直播栽培の導入等による生産コストの低減、食味向上に向けた施肥等管



## 名須川 晋

岩手県議会 会派  
“希望・みらいフォーラム”所属

### 【活動歴】

- 花巻市議会議員  
平成7年4月～平成23年1月(6期)
- 岩手県立花巻北高等学校野球部  
OB会会長
- 法政大学校友会花巻支部  
(任意組織)事務局長
- 花巻市野球協会審判部所属  
岩手県野球協会認定1級審判員
- 特定非営利活動法人  
花巻市民活動支援センター運営委員長
- (公社)花巻青年会議所卒業
- 花巻商工会議所青年部  
経営委員会委員長
- 北東北若手議員の会(わらし塾)会長

理技術の実践に加え、需要調査に基づく飼料用米等への転換などの取り組みを一層進める。また、様々な機会を捉え、有利販売や消費拡大に向け、県産米の品質の高さや美味しさをアピールするなど、農業者が安心して米づくりを行えるよう、農業者や農業団体と連携して取り組んでいく。

**Q** 国内における米の消費低迷、米価下落と内需拡大に期待できない状況において、輸出に光明を見出したいが、県の取り組みを示せ。

【農林水産部長答弁】

**A** 少子高齢化等により国内市場が縮小している中、安全で高品質な県産米の輸出による新たな販路の拡大は、生産者所得の確保などにつながる重要な取り組みであると認識している。県では、日本食への関心が高いシンガポールや香港等への県産米の輸出拡大に向けて、全農岩手県本部や国内の卸売業者等と連携し、新規需要米制度を活用した輸出用米の生産拡大や、日本食レストランへの売り込み、さらには海外量販店でのフェア開催など、産地と流通が一体となった取り組みを進めている。今後とも、結び付きを強化し、一層の取引拡大に繋げるとともに、新規取引先の開拓を進め、更なる県産米の輸出拡大を図っていく。

### 内水面漁業の振興について

**Q** 内水面漁業の振興に関する法律改正に伴い、国の基本方針に基づき、その振興を更に推進し進める必要があるが、どう対応するか。

【農林水産部長答弁】

**A** 県では、これまでにアユ、サクラマス等の種苗生産技術の開発や稚魚の放流、ニジマス等の養殖展開、また、溪流釣りを通じた地域振興の取り組み支援などにより、内水面水産資源の増

養殖の推進や有効活用に取り組んできた。今般成立した「内水面漁業の振興に関する法律」は、漁業生産力の発展と併せ、国民生活の安定向上、自然環境の保全に寄与することを目的としており、県としても、法律に基づく国の基本方針に即した計画を策定し、内水面漁業の振興に取り組んでいく。

**Q** 原発事故に伴う出荷制限・採捕自粛を受けている規制水域が広すぎるとの指摘があるが、どう考えるか。

**【農林水産部長答弁】**

**A** 現在、一部河川において、イワナ、ヤマメ、ウグイが制限され、このうちウグイについては、北上川水系のうち四十四田ダムの下流全域が対象となっており、規制の対象水域が広範に亘っている。国の原子力災害対策本部は、魚種の出荷制限指示にあたり、対象魚種の生態や移動を制限するダムの有無等を考慮して、規制する対象水域を設定しており、県においても、同様の考え方に基づいて対象水域を設定している。県では、これまで出荷制限等の早期解除に向けて、対象魚種の放射性物質検査を実施しており、7月に気仙川、8月に大川のウグイについて国の出荷制限が解除されたところであり、今後も、関係漁協の協力を得ながら、放射性物質検査を継続し、出荷制限等の全面的な解除に向けて取り組んでいく。

### いわて花巻空港の活用及び観光施策について

**Q** 羽田便の実現、地方航空路線網の拡充について、どう取り組むか。

**【県土整備部長答弁】**

**A** 県及び県空港利用促進協議会では、毎年ダイヤ改正の時期にあわせて、航空会社に対して、羽田線の開設を含む航空路線の維持・拡充について要望している。その結果、現在、開港以来最多となる1日12往復の定期便が就航し、また、本年度から乗継割引運賃が導入され、一層の利便性の向上が図られた。一方、羽田便就航については、航空会社からは、新幹線との競合や羽田空港の発着枠の問題などから難しいとの見解が示されているところであるが、花巻市などと連携してニーズ調査を行い、要望に反映させていく。今後とも、いわて花巻空港から羽田空港をはじめとするハブ空港

への接続、既存路線での増便や機材の大型化、乗継による利便性の向上などについて、航空会社に働きかけて空港の一層の発展に努める。

**Q** 外国人観光客受け入れ態勢の充実のため、公衆無線LANサービスの有用性が増しているが、県内の整備、普及状況はどうか。

**【政策地域部長答弁】**

**A** 通信事業者が設置する外国人観光客が利用できる県内の機器設置箇所数は、昨年度の約1,000箇所に対し、平成26年9月現在、2,000箇所を超えており、大幅に増加している。県では、平成25年12月から、東北観光推進機構と公衆無線LANを設置している通信事業者と連携し、外国人観光客を対象に、2週間無料で接続できるカードを配布するなど、その利便性の向上を図っている。今後とも、観光関係者や集客施設関係者に対し、店舗や施設のサービス向上に

### 北東北若手議員の会【わらし塾】を開催

私が会長を務めております北東北若手議員の会【わらし塾】定例会を、8月8日に紫波町にて開催しました。北東北3県から12名の会員が集い、紫波中央駅前都市整備事業「オガールプロジェクト」について学びました。

図書館や地域交流センター、産直施設で構成する官民複合施設『オガールプラザ』、ビジネスホテルやコンビニ、日本初のバレーボール専用のコートをも有するスポーツアカデミーを併設する『オガールベース』を視察。一帯のエリアは子どもたちの新たな学びの場、



近隣住民の生活向上施設、国道4号線利用者の「道の駅」的な役割を担い、駅前の新しい賑わい施設として大変興味深く、一層発展していく紫波町の未来を感じさせるものです。いまや全国各地からの視察が相次ぐ補助金に頼らない民主導のビジネスモデルは、まちづくりの視点のみならず経営の観点からも学ぶべきところが多々あります。

繋がる公衆無線LANを積極的に導入するよう働きかけ、接続できる箇所数の拡大を促進していく。

**Q** 免税制度の改正により免税店の拡充を進めていくことが必要と考えるが、県としての取り組みはどうか。

**【商工労働観光部長答弁】**

**A** 制度の改正により、新たに食品等の消耗品が対象に追加され、地場産品も免税販売が可能となったことから、免税店の拡大は外国人旅行者の満足度の向上に繋がるとともに、地場産品の販売増による地域経済の活性化に資するものと期待されている。平成25年4月時点の観光庁調査によると、県内の免税店は2店舗に止まっていたが、10月1日から、新たに平泉町の事業者が免税販売を開始したところであり、引き続き、免税制度改正の普及啓発を図りながら、県内観光物産関係者による免税店の拡大を促進していく。

**Q** 空港に免税店を整備する計画があるか、あればその概要はどうなっているか。

**【県土整備部長答弁】**

**A** 空港増築工事は、国内定期便2便と国際便1便の輻輳（ふくそう）にも対応できるようにするとともに、混雑解消のため、手狭な国際線の入国・出国待合室を拡張するものであるが、あわせて、国際線利用者の利便性や空港の魅力向上を図るため、2階の出国待合室に約50㎡の免税店用スペースを確保することとしている。今後、国際定期便の動向も踏まえ、出店事業者の調整を進め、利用者や空港関係者の意見を聞きながら魅力ある免税店となるよう検討していく。

### 地球温暖化に係る適応計画の策定について

**Q** 地球温暖化の進行による過酷な環境変化の中で、どう県民の安寧の暮らしを守っていくのか、もはや温暖化を前提とした適応策を検討すべきであると考えるが、県の考えを伺う。

**【知事答弁】**

**A** 2013年9月の「国連の気候変動に関する政府間パネル」において、世界の平均気温上昇を2度以内にとどめたととしても、災害・食料などへの影響が予測されることから、温室効果ガスの継続的な削減対策に加え、気候変動による影響への適応策を講ずることが求められたところである。こうした状況の中、国では気候変動による将来影

響とリスク評価を行うとともに、平成27年夏頃に適応計画を策定すべく検討を進めていると聞く。県では、これまでも省エネルギーの促進と再生可能エネルギーの利用促進などによる温室効果ガスの排出削減に取り組んできたほか、頻発する自然災害から県民の生命・財産を守る災害防止施設の整備や、防災情報提供の拡充、農作物への高温影響対策に関する研究などを進めてきたところであり、今後も、国の検討状況も踏まえながら対応していく。

### 東北電力の再生可能エネルギー接続申込みに対する回答の一時保留について

**Q** 東北電力の再生可能エネルギー接続申込みに対する回答の一時保留について、企業局の経営や再生可能エネルギー導入計画への影響は発生しないか。

**【企業局長答弁】**

**A** 一般の電力会社の回答一時保留は、企業局の運転中の発電所には波及しないので、現在の電気事業経営には影響はない。また、今年度運転開始予定の相去太陽光発電所は、既に東北電力の送電線への連系接続が確定しているほか、平成29年度運転開始予定の（仮称）高森高原風力発電所についても回答保留の対象外であり、いずれも建設スケジュールに影響はない。

この他、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた県の取り組み、マイナンバー制度導入に向けた体制整備、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業、農地中間管理事業に係る機構集積協力金、いわて若者活躍支援事業、県が保有する知的財産権の状況と活用について等、問い質しました。

皆様のご意見をお聞かせください

なすかわ 名須川しん事務所

〒025-0065 花巻市星が丘2丁目20-5  
Tel 0198-29-5855  
Fax 0198-29-5856  
Mail: eggplant@michinoku.ne.jp